

後悔しかない

「今から考えると、後悔しかない」
「ちょっとなら大丈夫だろうと思った」

同僚との飲み会后、酒気帯び運転で事故
停職6か月の懲戒処分受け、依願退職

2023/7/14(金) 14:00

某県警の30代の女性巡査部長が今年5月、同僚との飲み会の後、バイクを運転し、事故を起こしていたことが分かりました。

女性巡査部長は14日、停職6か月の処分を受け依願退職しました。

県警によりますと、女性巡査部長は今年5月26日の午前1時ごろ、県内の国道で酒を飲んでバイクを運転し、ガードレールに衝突する事故を起こしたということです。呼気から1リットルあたり0.25ミリグラムのアルコールが検出され、14日、酒気帯び運転の疑いで書類送検されました。

女性巡査部長は、事故のおよそ30分前まで同僚との飲み会に参加していて、「生ビール5杯と酎ハイなどを飲んだ」と、説明しているということです。

そして、いったん帰宅した後、水を買うためバイクでコンビニに向かっていた事故を起こしたということです。

倒れたバイクを戻そうとしている女性巡査部長を巡回中のパトカーが発見。

その後、上司が自宅まで送った際、本人が飲酒運転を申告したということです。

女性巡査部長は14日、停職6か月の懲戒処分を受け、同日、依願退職しています。調べに対し「今から考えると後悔しかない。ちょっとなら大丈夫だろうと思った」と話しているということです。

県警の首席監察官は、「官民を挙げて飲酒運転の撲滅に取り組む中、警察への信頼を揺るがしかねない行為で誠に遺憾。職員に対する職務倫理教養、身上把握・指導を徹底し信頼回復に努める」とコメントしています。